

**活動が載りました！**

みなさんこんにちは。早いもので『平成 31 年』が始まって、もう 1 月半経ってしまいました。皇太子さまが 5 月 1 日に即位され改元するので、『平成』も残りわずかですね。私のヤンゴン生活 2 年目も平成と共に終わり、最終年の 3 年目に突入します。色々なことがあった『平成』に負けないくらいの激動の日々ですが、しっかりがんばって結果を出したいと思います。

そんな私の休日ですが…先日もお伝えしたように、毎週土曜日『吹奏楽』をしています。先月の話ですが、19日に「Yamawa Baptist Church」という教会に隣接するホールで演奏会を行いました。お客さんは、この教会近辺のストリートチルドレンや貧困で学校に通うことができない子どもたちです。ただ音楽を演奏するだけでは気が引けるので、団員みなさんの総意で演奏後にダンパウ（ミャンマーの鶏入り炊き込みご飯）を用意し、聞きに来てくれた子どもたちにふるまいました。60～70人くらいの子どもたちが集まり、小さなホールはいっぱいの熱気であふれかえりました。きっとみんな、最初は演奏後のダンパウ目当てで集まっていたと思うのですが、演奏が進むにつれ自然と湧き上がる手拍子や歓声。最後の曲の「乾杯」では立ち上がって歌う子ども達も現れ、熱烈なアンコールを受け、もう一度乾杯を演奏。会場中が歌声と楽器の音で埋め尽くされ、聞いていた子どもたちが本当に心の底から楽しんでいる様子が演奏している我々にも伝わり、とてもよいステージだったと思います。





日本語新聞  
YANCON PRESS  
第68号 2019年  
2月

ヤンゴンプレス

# Yanゴン Press

The first Japanese media in Myanmar

မြန်မာနိုင်ငံတော်နိုင်ငံတော်မြန်မာနိုင်ငံတော်  
နိုင်ငံတော်မြန်မာနိုင်ငံတော်မြန်မာနိုင်ငံတော်

ミャンマー連邦共和国 情報通信省認可 特許登録部 許可番号 第00362号

Free Paper 2月号 2月1日~28日

第68号 2019年2月1日発行

Yanゴン Press - The first Japanese media in Myanmar -

Special Article

## 日緬交流のトピックス

ヤンゴン在住者による吹奏楽団のボランティア活動  
恵まれない人々に届ける善意の演奏が評判を呼ぶ

派手さはないが、音楽を通じて地域に社会貢献活動と結んでいるグループがある。不産物産やシンパシーによる入居申込に対するさまざまなアドバイザーサービスを行っている「Myanmar A & R Co. Ltd.」の代表取締役を会長とした「サンゴバツShive Gita」という音楽バンドが今年も入居希望者を案内する。

設立は今年から3年が経過した2015年11月、職機もさまざまなサンゴバツ在住者の有志で組織されたこの楽団は、むしろシンパシーを母体としたグループではない。メンバーの連名もまた「タチヤチヤ」という、またしても土地柄に大賛賞があればいい慣習が影響を及ぼしているといえる。

00~19:30まで約2時間半、ヤンピン日本人学校のスペースを借りて講習に努めている。ちなみに現在、おついでに人回希望者を募集中とのこと。

この教会集団が、先月19日にヤンピンのシェウェーバーTSPにある「Yamawa Baptist Church」に行き、今回初めての30分間コンサートを行った。今回の演奏は、午前9:03から午後4:40分までであったが、家のないリゾートホテル、和洋折衷の学校にいてもけいらいさキャンジェーの子供たち約100人が集まった。

ヤンピン日本人学校の教員で2時間半の曲の選曲は日本人の指揮のもと、おどるなど

けるならば、できる限り演奏に行きますよ。」と、 おっしゃるが誰でも簡単にできることではない。  
有友さんは満足そうに微笑んだ。こともなげに 今後の活動に期待したい。

楽団参加希望者、また演奏依頼については下記へ  
yvnbrass@gmail.com または makoto.ent@gmail.com 電話：09.4217.44136

ykuborasso@gmail.com または、makoto.ente@gmail.com 電話：09-4217-4413678

ヤンゴン日本人学校の教員でトランベット担当の武山公之さんの指揮のもと、おどるボ

演奏後、子供たちにはダンパウが振る舞われた。子供たちは、これまで見たこともない楽器に目を輝かせ、手拍子やアンコールも自然に出て、音楽に引き込まれた時を過ごした。

子供たちを囲んでの懇話会。



この活動が、先日ミャンマーで初めて作られた日本語新聞『Yangon Press』に特集され、掲載されました（記事は別ファイルで添付していますので、内容はそちらをご覧ください）。北海道にいたころ何度か新聞の取材を受けたことはありましたが、当然海外では初めての経験。フリーペーパー形式で発行されている冊子なので、発行日には家族で外食に行き、無事手に入れることができました。（こちらの日本人向けフリーペーパーは、日本人がよく行く日本食レストランやショッピングセンター、もしくは日本人会本部などにおいてあります）そしてこの記事は結構色々な人の目にとまったようで、こちらの知り合いの方からいっぱい声をかけていただくことができました。やはり、メディアの持つ発信力はすごいなぁと改めて感じたところです。

これ以外にも、『楽器の図書館(<https://b-m.facebook.com/powerofmusicmyanmar/>)』という、初めて楽器を触るミャンマーの人たちに、楽器を貸す＆レッスンをするといった活動なども行っており、うちの楽団のメンバーが講師としてボランティアで楽器の指導をしています。みなさん自分の仕事をやりながらなので大変なのですが、それでも毎週のように足を運んでいる方もいます。あの教会での演奏会のように、プレイヤーも観客も一体となって心から音楽を楽しめるようにしたい。そういう日が一日でも近づくように、私も練習を頑張りたいと思います。

それではまた来月、こちらでの生活をお届けします。